

令和5年度 学校経営計画

| | |
|-----|-------------|
| 学校名 | 石川県立金沢西高等学校 |
| 校長 | 佐藤昌宏 |

1 教育目標

- (1) 自主的、意欲的な学習態度の確立
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 豊かな情操の涵養と礼儀正しく明るい校風の樹立

2 中・長期的目標

保護者や地域から信頼され、地域の中核・リーダーとなって活躍する高い志をもった人材を育成する学校づくりを目指す。

(1) 学校の現状

- ① 素直で真面目な生徒が多く、文武両道を推奨しているが、自ら考えて行動する主体性やチャレンジ精神の涵養が必要である。
- ② 生徒の進路実現に向けて、学力分析に基づいた初期指導を徹底し、3年間を見通した学習指導・進路指導計画により、教育力の向上を図っている。
- ③ 部活動の活性化やボランティア活動の推進に取り組み、人間性の陶冶を図っている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 計画的な進路指導と、個に応じたきめ細やかな指導によって、主体的に学力向上及び進路実現に取り組む生徒の育成を図る。
- ② 基本的な生活習慣の確立と、道徳教育やボランティア活動を通して、規範意識を高め、豊かな人間性と社会性を身につけた生徒の育成を図る。
- ③ ふるさと教育、地域との連携を通して、地域の文化や歴史、自然等への愛着と敬意を育み、国家や社会に貢献する態度の育成を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 高い専門性と幅広い視野をもって、授業力、教育力の向上のため、研鑽に努める。
- ② 学習指導、進路指導と生徒指導、部活動指導をリンクさせ、組織としての指導力を向上させる。
- ③ 保護者、地域に対して、積極的に広報活動を行い、理解、信頼や協力を得られるように努める。
- ④ 長時間勤務をやむなしとするこれまでの働き方を見直し、限られた時間の中で教職員の専門を生かしつつ、教材研究・授業準備や生徒と向き合う時間を十分に確保するという観点に立ち、教育活動全般を見直す。
- ⑤ 部活動については、教職員の負担軽減や教科指導等に取り組む時間の確保という観点に加え、生徒の学習面や健康面などのバランスのとれた健全な成長の観点を十分に踏まえて取り組みを進める。

3 今年度の重点目標

- ① G I G Aスクール構想の実現に向け、I C Tの効果的な活用を通じ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努め、生徒の主体的な学びおよび、確かな学力の育成を図り、進路実現につなげる。
- ② 新型コロナウイルス感染対策の実施の要否の判断を的確に行ったうえで、組織的な教育活動を通して、生徒の規範意識を高め、将来の主権者としての自覚を促し、自立した社会人たる判断力・行動力を養う。
- ③ 文武両道の実践のもと、部活動の効率的な活動と更なる活性化を図り、心身の錬磨を通して、人間力を高めチャレンジ精神を培う。
- ④ ボランティア等の諸活動や情報の発信を通して、保護者、地域との連携を密にし、信頼される学校づくりを行う。
- ⑤ 「教職員の多忙化改善に向けた取組方針」を踏まえ、業務の平準化を通じ教職員の時間外勤務縮減を推進し、また、ワークライフバランスを意識した業務改善につながる学校マネジメントを推進していく。